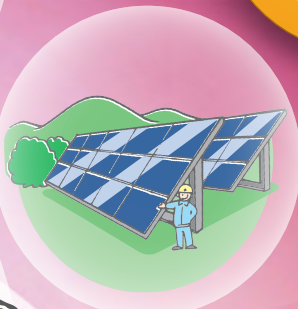


Plan
(計画)



主な政策集 概要版

もっと良くなる奈良県

奈良県

はじめに

奈良県では、「県政の目指す姿」である「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ため、持続可能な財政運営を維持しつつ、直面する県政諸課題に積極果敢に取り組んでいます。

本県経済の持続的な成長につなげるため、地域経済の活性化と雇用の確保を強力に進めます。また、2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催が決定されましたが、これを契機にその後のさらなる発展ができるよう、奈良のもつポテンシャルを活かした、観光、文化、スポーツの振興に積極的に取り組むとともに、くらしやすい奈良の創造に向けたまちづくりを進めます。

「主な政策集 もっと良くなる奈良県」は、これらのテーマを含めた県政の重要課題について、これまで重ねてきた議論を実現・実行させるため、「地域を良くしたい」という強い思いのもと、必ずやり遂げるという信念を持って智恵と工夫を凝らし、実行段階にある諸施策を盛り込み、内容の充実を図りました。

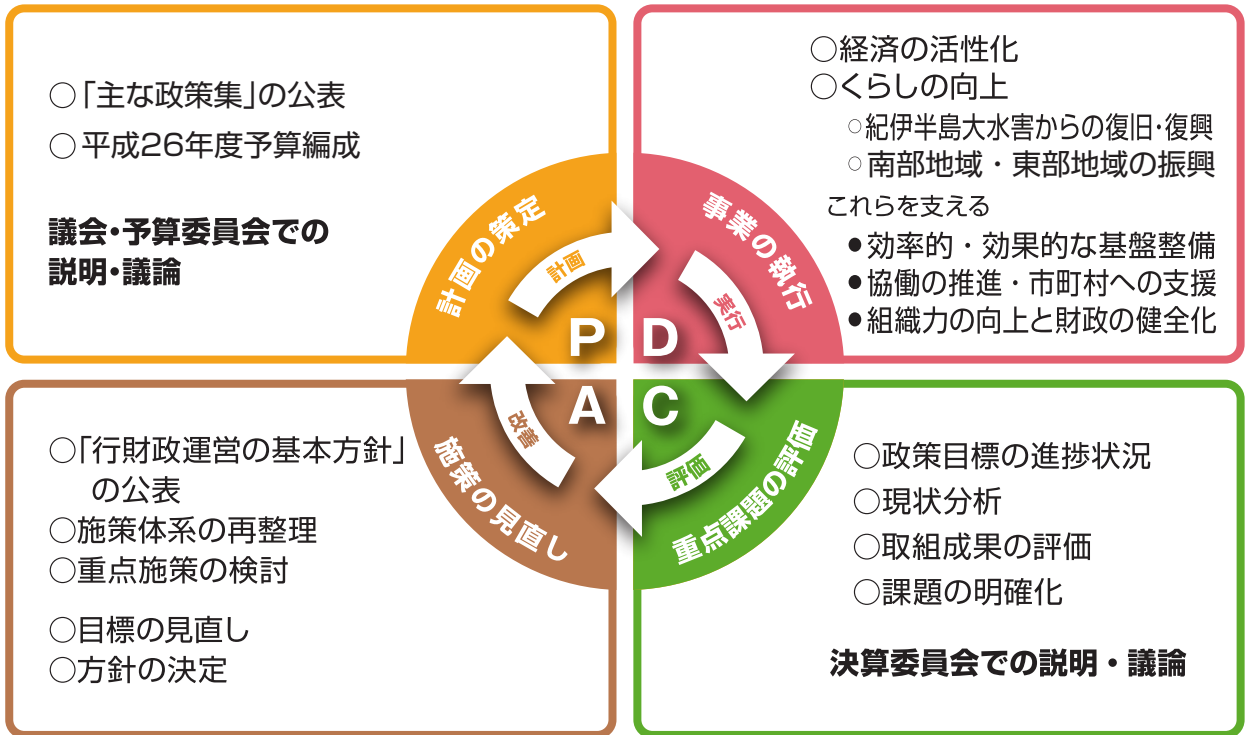
引き続き、「経済の活性化」や「くらしの向上」に取り組み、「未来の県民」のためにも、これまで育ててきた発展の芽をより大きな成果へと結実させ、より良き奈良の未来づくりを進めていきます。

平成 26 年 2 月

奈良県知事 荒井 正吾



行財政運営のマネジメントサイクル

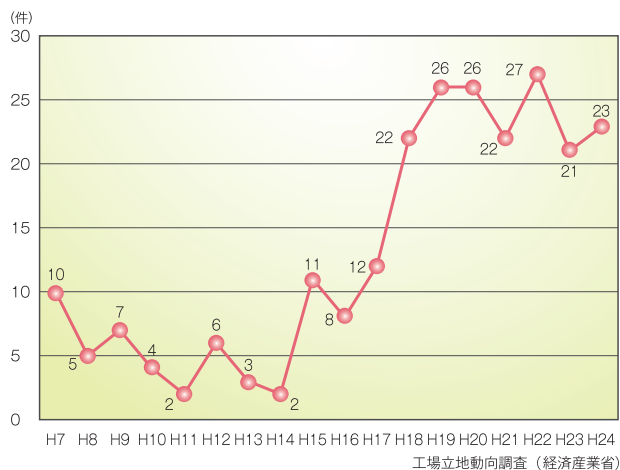


地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る

奈良は良くなってきました

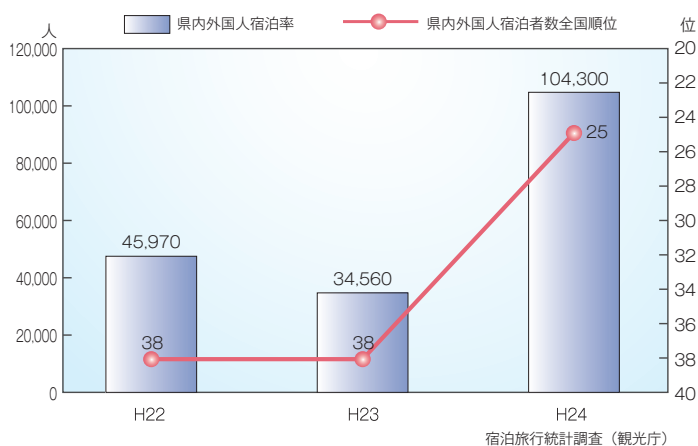
経済の活性化

■ 企業立地件数



平成 19 年から平成 22 年までの 4 年間で 101 件の企業立地を実現しました。平成 24 年も引き続き積極的な誘致活動をした結果、20 件台を維持しました。1 件あたりの立地面積では、全国第 24 位の 1.7 万㎡です。

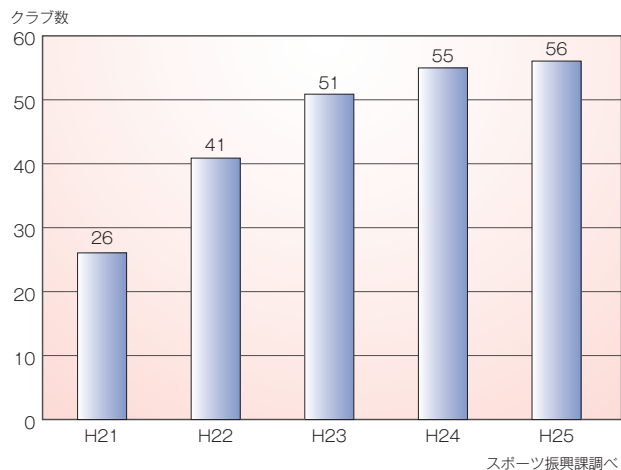
■ 外国人宿泊者数の推移



平成 24 年に奈良県内で宿泊した外国人客数は、104,300 人と推計されており、平成 23 年に比べて約 3 倍で、全国 25 位（平成 23 年：38 位）となりました。

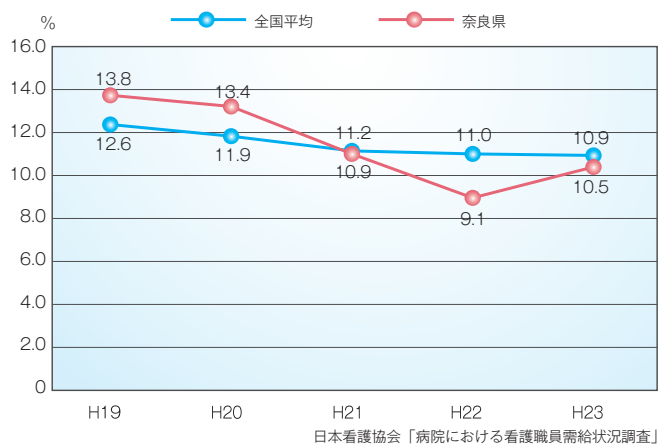
くらしの向上

■ 総合型地域スポーツクラブ数



平成 25 年度の総合型地域スポーツクラブ数は、56 クラブとなりました。クラブ育成率も 92.3%（平成 21 年度：38.5%）となり、市町村に対する支援が増加につながっています。

■ 看護職員の離職率



看護職員の離職率は、離職防止の積極的な取り組みにより、平成 21 年度以降全国平均を下回り、改善傾向にあります。